

アオゲラ カヤクグリ

英名で頭に“Japanese”がつき、しかも日本固有種をフィールド・ガイドから拾ってみると、次の3種となります。

Japanese Green Woodpecker	－	アオゲラ
Japanese Wagtail	－	セグロセキレイ
Japanese Accentor	－	カヤクグリ

アオゲラの「あお」はBlue（青）ではなく、Green（緑）の「あお」の意で、「日本のみどり色のキツツキ」ということになります。

カヤクグリはイワヒバリ科（Accentor）に属し、世界に12種、日本に3種が確認されていますが、その中でカヤクグリのみが純粋に日本固有種です。その3種とは、

カヤクグリ	－	Japanese Accentor
イワヒバリ	－	Alpine Accentor
ヤマヒバリ	－	Siberian Accentor

であります。Accentor（アクセント）という名でまとめられています。Accentorとはラテン語で“one who sings with another”「他の人と共に歌う者」であり、この類は「美しい声でさえずる」のを特徴としているようです。なお、言葉にアクセントをつける、あのアクセントも同じ語源から発しています。

この3種のAccentorにそれぞれ別の形容詞がついていて、その分布を示しています。イワヒバリは“Alpine”即ち「高山性の」鳥であり、ヤマヒバリは“Siberian”「シベリアの」鳥で主としてウラル以東のタイガとアルタイ山脈などで繁殖します。

図鑑には簡単な分布図が載っていますので、一寸その方にも目を通しておくと、頭の片隅に印象が残るものです。特にこの“Accentor”の場合には、英名がずばりその分布を示していて、英名の効用がはっきりしていました。次回は“Japanese”が頭につくが日本固有の鳥ではないものについて、何故“Japanese”がついているのかを探ってみたいと思います。

大宮のハクトウワシ